

Vol.1 発行年月日  
2010年11月25日  
発行部数  
500部  
発行人  
前原 克彦

# 佐倉ばら会通信

目次
1頁 会長の挨拶、その他
2頁 講習会、企画事業
3頁 講習会
4頁 ギャラリー佐倉、他

ごあいさつ

佐倉ばら会会長 前原克彦



3月に産声をあげてから、機関誌の発行は佐倉ばら会の願いでありました。まだ船出をしたばかりのばら会ですので、海のものとも、山のものとも分からない状態ですが、この秋までに3つの行事を開催してきました。これらの行事を通して会員の皆様の興味や意向をお聞きしながら、会員の皆様と一歩ずつ前進するばら会でありたいと思っております。

この機関誌が会員の皆様の声を、希望を反映し、皆様方の連帯を強め、ばら会をより強固なものにするものになることを願っております。

機関誌作成に尽力くださいました関係者の皆様、ありがとうございました。

私はバラのことを書くのが一番安心していられますので、これからシリーズで現代バラのルーツである8つの系統のバラについて書かせていただきます。一緒に勉強をしていきましょう。

## 現代バラのルーツ

### ① ノイバラ (*Rosa multiflora*) 日本原産

日本の九州、四国、本州に自生している。花が数多くつくという学名がついていて、この多花性のDNAが現代バラに引き継がれた。

中国の矮性の四季咲バラ(ローサ・キネンシス・ミニマ)と交配され、ポリアンサ・ローズが誕生した。このポリアンサ・ローズと大輪系のバラ(ハイブリッド・ティー)が交配され、フロリバンダ・ローズが誕生し、世界のバラ園を飾っている。又、その強健性と美しさから盛んに品種改良がなされ、詩にうたわれたランブラー・ローズが誕生し、19世紀後半から20世にかけて一世を風靡した。



ノイバラ (*Rosa multiflora*)

世界バラ会連合公認 **国際ヘリテージローズ会議 2011-佐倉** 2011年5月28日(土)～6月3日(金)

来春佐倉で花に関わる記念すべきイベントが数々行われます。

その中でも注目を集めている「**国際ヘリテージローズ会議 2011-佐倉**」にて、佐倉ばら会ではその運営にボランティア協力という形で参加を開始いたしました。

各国からの要人やゲストをお出迎えするため、のエスコートをして下さるボランティアの方々を大募集いたします。ご興味のある方はぜひご協力をお願いいたします。

### <ご協力が必要な日程と内容>

#### 【記念講演会】

5月28日(土) 国立歴史民俗博物館 \*受付やご案内数名

#### 【ウェルカムパーティー】

5月28日(土) 草ぶえの丘バラ園 \*会場案内やその他のエスコート数名

#### 【ヘリテージローズ会議】

5月28日(土)～31日(火) 国立歴史民俗博物館 \*会議中のご接待各日数名

\*お手伝いいただくボランティア希望の方は佐倉ばら会の事務局までご連絡ください。

<国際ヘリテージローズ会議についてのお問合せ先>

国際ヘリテージローズ会議 2011-佐倉実行委員会 TEL/043-483-0393 FAX/043-486-9356

# 学びながら、楽しみました。

## 勝沼ワイナリーバスツアー

バスツアーに参加して！ 飛弾元美 (佐倉ばら会正会員)

ワインについて深い知識がない私でしたが、ツアーの内容に誘われて参加を決めました。当日は、初めてお会いする方々ばかりでしたが、バスの中で自己紹介がはじまり、それぞれのワインを愛する想いを伺ううちに、自然と緊張もほぐれ、和やかな雰囲気になりました。

途中かなりの渋滞に巻き込まれたものの、車中でお話が弾み、時間の長さを感じませんでした。到着後は、勝沼酒造の有賀社長から“世界でも通じる勝沼ワイン”への熱い想いを講義して頂き、メインイベントの白ワイン試飲を皆で楽しみました。白ワインは10種類以上あり、一つひとつ違った香り、味、繊細さを感じることができました。なかなか国内では親しまれていない日本のワインがこんなにも美味しいと感じたのは、想像以上のことでした。試飲後は、長崎にある大浦天主堂をイメージしたレストラン「風」にて、ローストビーフと季節の野菜添えや料理に合ったワインが用意され、開放的な空間の中でワイン通の方々の話を聞きながら楽しい食事を過ごすことができました。駆け足の所もありましたが、コース終盤、車中でひとりワインについて思い、甲州ワインの魅力は「アルコール度が高く、香り、味わいが濃い生の魚介類や繊細な懐石料理、ローストビーフにわさびを添えた日本料理によくあうワイン」とある雑誌で読んだことをふと思い出しました。今日行った勝沼酒造で頂いたワインはまさにその通りでした。田舎の静けさから都会の夜景が見え始めた頃、テレサテンの曲を思い浮かべながら“つぐない”や“愛人”といった甘い歌声にぴったりなワイングラスがムード音楽に乗せて車窓に映った気がし、またワインが好きになりました。赤と白のコントラストが、ばら会とワインが妙にマッチしている様に思えて、何かとても印象深く興味をそそる旅でした。

同行の皆様お世話になり、有難うございました。



有賀社長を囲んでみなで記念撮影



フランスでも認められた日本の極上ワイン「アルガブランカ」がそろっています



ワインに合うお食事の数々を堪能いたしました



レストラン「風」の店内

【関係各位のご紹介】  
勝沼醸造株式会社

(ホームページ) <http://www.katsunuma-winery.com/>

勝沼醸造の経営するレストラン「風」

(ホームページ) <http://www.katsunuma-winery.com/>

## 第1回 佐倉ばら会 クリスマス会開催のお知らせ

普段なかなかコミュニケーションを交わす事が出来ない会員様どうしが絆を深め、意見交換などが活発に行われる事をご期待しております。美味しいお食事を囲んで、弾む会話を楽しみましょう。お食事は佐倉ばら会用に、特別なクリスマスメニューをご用意していただきました。ぜひ皆様、お気軽にご参加ください。

日時：12月17日(金) 13:00~15:00 **このばら会を通じて、仲間と語り合うことで**

場所：イタリアンレストラン ヴォナフォルトゥーナ

佐倉市上座498-7松村ビル1F TEL: 043-463-7147

料金：3500円(税込み) \*詳細は事務局までお問合せください。

クリスマス会のお手伝い(準備、受付、その他)をしてくださるボランティアの方を募集しております。皆様のご協力お待ち申し上げます。

## 秋バラの剪定講習会

講師：「佐倉ばら会」会長  
前原克彦氏



剪定が完了した苗、たった数ヶ月で花を咲かせたのですね

夏の剪定は初めての体験(バラの剪定講習会を受講して) 福田英夫(佐倉ばら会正会員)

今夏は厳しい暑さが続きましたが、草ぶえの丘バラ園で夏の剪定講習会を受講した8月28日も大変な猛暑でした。前原克彦先生の座学講習の後、バラ園に行き剪定の実習を行いました。夏の剪定はバラの木の上部3分の1を剪定すると良いとのこと、先生に横で見ていただきながら剪定しました。私にとっては夏の剪定は初めての体験でしたので大変不安でした。まだバラの花が付いている枝も切り落としましたので何だか惜しいような気がしました。夏に剪定しても5週間後くらいには花が咲くとのことでしたので、それを楽しみに待つことにしました。



酷暑の1日。それでも熱心に講習を受ける受講者の方々

たまたま10月21日に佐倉ばら会の主催で草ぶえの丘園内にオープンした「カフェローズテラス」で紅茶教室が開かれましたので、その帰りにバラ園を覗いてみました。夏に剪定したバラに上手く花が咲いているかどうか心配でした。おそるおそる園内を見ると、大輪のバラがあちこちで咲いていました。夏にあんなに切ったのに綺麗に花を咲かせてくれたバラに感動するとともに、暑い中ご指導していただいた前原先生に改めて感謝申し上げたいと思いました。

夏剪定の大切さがよく分かりましたので、我が家のバラも必ずしようと思いました。

## バラ園と紅茶教室

講師：「日本紅茶協会認定」ティーインストラクター  
片岡久美子氏 (株)リーフル所属



ダージリンとミルクティーの美味しい入れ方を学びました



英国式アフタヌーンティーでお紅茶をいただきました



先生の手元に注目が集まります

## 紅茶と薔薇で優雅なひととき 星 弘子

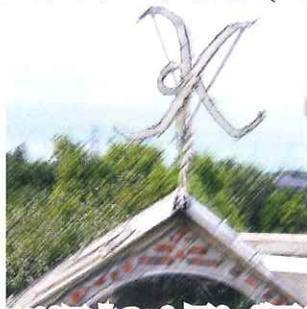
ある日近くの郵便局の掲示板で紅茶講習会の案内に目が留まりました。自称紅茶通(?)で薔薇好きの私としては参加するしかないと思い、すぐに申し込みました。

楽しみにしていた紅茶講習会は、10月21日、木曜日、草ぶえの丘公園のバラ園内のカフェローズテラスで開かれました。当日は雨模様でしたが、静かな雰囲気の中で講習会は始まりました。はじめに佐倉ばら会の会長前原氏の挨拶の後、待ちに待った紅茶講習です。まずは美味しく紅茶をいれる為の5つのルールから始まり、紅茶の歴史、種類や産地、また実際にダージリンの中で夏に収穫されるセカンドフラッシュやチャイの入れ方を教えていただき、試飲をさせていただきました。芳醇な香りとコクがあり、自宅で飲む紅茶とはひと味もふた味も違うものを感じ、すぐに実践したくなりました。講師の方も優しい話し方でわかりやすく、すんなりと頭に入りました。

講習が終わった後前原会長の案内で、このバラ園でしか見ることができないティーローズを見せていただきました。雨に濡れて枝垂れてはいましたが、クリームイエローの上品で可憐な花でした。紅茶と薔薇の香りを満喫した優雅なひとときでした。有難うございました。

# Gallary Sakura ギャラリー佐倉 素敵なお庭、お宅をお訪ねしてご紹介してゆくコーナーです。

佐倉市在住  
アイアンアーティスト (K 邸のご紹介)



「ここは日本？」と思わず尋ねたく  
なるほど不思議なお宅。

ご自身の手で設計、施工も行っています。



窓からの採光をとことん意識した、キッチン横のスペース。外から植物が入り込んで、自然と一体化しています。



天井いっぱいに広がって咲いたナニワイバラ。



玄関扉が古城の雰囲気をおもわせます。ここから見える景色にこだわって演出をこらしています。



天井から、バルコニーに散ったバラの花びらが絨毯のように見えるダイニングバーは、中二階のリビングと合わせて約40畳ありました。



ダイニングと隣接のバルコニー。20人用の大テーブルには、天井から薔薇の花びらが落ちています。

\*このコーナーでご紹介したい素敵なお宅をご紹介ください。自薦、他薦問いません。詳しくは事務局まで。

## We get start to make our Garden!!



花を植えはじめます

11月5日、志津コミュニティセンターにて、花壇作りの視察を行いました。今回はバラのオーソリティーである前原会長が設計を行います。この場所を訪れた方々が、花壇をみて、心が豊かになることを願っております。来春には植え込みを完成致す予定ですので、5、6月に開花が期待出来るのではないのでしょうか。バラの美しい花壇を楽しみにご期待ください。

### 花壇作りにご協力いただける方大募集!

「佐倉ばら会」では、今後も、公民館や学校などの敷地をお借りして花壇作りを広めてまいります。

### 佐倉ばら会・機関誌のタイトル(愛称)を募集しております

佐倉ばら会は2010年3月に設立され、この度、第1号の機関誌が発刊されました。今後会員様に楽しんで読んでいただく機関誌として、親しみやすい愛称となるタイトルを募集いたします。公募で決定しましたタイトルは3号目から季刊誌のタイトルとして採用させていただきます。採用された方には、会より記念品を贈呈させていただきます。たくさんのご応募お待ち申し上げます。

応募期間：2010年12月12日(日)～2011年6月6日(月)

応募内容：佐倉ばら会「機関誌」のタイトルの募集

応募規定：日本語(ひらがな、カタカナ、漢字)外国語(ローマ字)のいずれかを使用して7文字以内

応募方法：「タイトル」、氏名、住所、電話番号を明記の上、佐倉ばら会事務局まで、ファックス、またはメールでご送信ください。応募の数はお1人5点までとさせていただきます。

 佐倉ばら会 Sakura Rose Society 事務局

佐倉市宮ノ台3-2-5 ホワイトハウスA5 TEL/043-306-1487 FAX/043-306-1490

http://rose-society.net (公式サイト) srs@rose-society.net (お問合せメール)